



# 相武台中学校

## 災害時の対応マニュアル

保存版



学校電話番号 042 - 746 - 6201  
学校 FAX 042 - 741 - 7962

このマニュアルは、平成24年3月に相模原市より出された「相模原市学校防災計画」をもとに、相武台中学校としての災害時の対応をまとめたものです。

市内中学校ともにほぼ同じ対応となりますが、一部本校独自の対応もありますので、事前に緊急時の対応をご家庭で確認しておいてください。

令和3年4月

相模原市立相武台中学校

### ご家庭で準備しておいていただくこと

①震度5強以上で保護者等への引き渡しとなった場合、保護者の方が迎えに行けない時に誰が迎えに行くのか、家族が落ち合う場所はどこなのか、学校以外の自宅近くの避難所はどこなのかを日頃からご家庭で話し合ってください。

②震度5弱で、大規模な交通網の麻痺や停電、情報網の混乱、通学路の損壊がない場合は、原則自宅への帰宅(集団下校)となります。帰宅後、一人の場合などは余震等で怖い思いをした生徒が多かったと思います。帰宅したらどうするかを日頃よりご家庭で話し合ってください。

★我が家の一時避難所は( )…空き地や小学校など一時的に避難する場所

★避難場所は( )…避難生活ができる小中学校など

★広域避難場所は(座間キャンプ)です。

### 強い地震への対応について

#### 1 大規模地震の定義

- ① 本市作成の防災計画で取り上げる大規模地震とは、**「市域のいずれかで、震度5強以上の地震が観測されたとき」**と定義します。
- ② 自校や地域が震度5弱以下でも、市内のどこか1地点で震度5強が観測されれば、全校で大規模地震が発生した場合の対応を行うこととします。
- ③ 大規模地震が発生した場合は、**学校は休校**とします。

#### 2 学校にいる時に強い地震が発生した場合の対応

○震度5強以上 授業は打ち切り、生徒は**保護者等へ引き渡すまで学校で保護**します。

##### 「保護者等への引き渡し」の伝達方法

- ・グループメール、学校ホームページ、ひばり放送、FMさがみ等で行います。
- ・通信網(電話・メール・インターネット等)が使えない場合もありますので、生徒引き渡しの合図として、**グラウンドの国旗掲揚ポールに赤色の旗を掲げます。**
- ・遠方にいる場合は、ラジオ等の情報で相模原市内の震度を確認して判断してください。

○震度5弱 学区の安全を確認した上で、教職員引率による**集団下校**とします。

##### 震度5弱以下でも

大規模な交通網の麻痺や停電、情報網の混乱、通学路の損壊があった場合は、学校長の判断により、震度5弱以下でも生徒を学校で保護し、保護者等への引き渡しを行います。

##### 休校と学校再開日

集団下校および引き渡しを行った場合は、基本的に学校は「休校」となります。休校にした場合の学校再開日は、学校から連絡します。その伝達方法は、グループメール、学校ホームページ、ひばり放送、FMさがみ等で行います。

#### 3 登下校中に震度5以上の強い地震が発生した場合の対応

生徒は身の安全を確保し、自宅または公園・避難所・中学校など、いずれか近い方を自ら選択し、建物の倒壊や火災を避けながら避難します。学校に避難した生徒につきましては、集団下校(震度5弱)または、保護者等への引き渡し(震度5強以上)とします。

#### 4 在宅時等に震度5以上の強い地震が発生した場合の対応

学校施設、通学路の安全等が確認できるまで休校とします。再開は、グループメール、学校ホームページ等で連絡します。

## 東海地震情報発表時の対応について

### 1 調査情報(臨時)発令時の対応

テレビ・ラジオ等で最新の情報を収集しながら、**通常の学校教育活動**を行います。

### 2 注意情報・予知情報・警戒宣言発令時の対応

情報の確認をし、**学校を休校**にします。また、**生徒は保護者等への引き渡し**とします。

★東海地震注意情報・予知情報・警戒宣言が発令された時点で自動的に「休校」「引き渡し」となりますので、テレビ・ラジオ等の情報を確認してください。また、あわせて学校より、相武台中学校グループメール、学校ホームページ等でお知らせします。

### 3 学校再開について

教育委員会との協議調整をして、安全が確認できた後、学校を再開する連絡をします。

#### 学校再開日

学校再開日は、学校から連絡します。その伝達方法は、グループメール、学校ホームページ、ひばり放送、FMさがみ等で行います。

## 校外学習時の対応について

★各学年の校外学習の計画の中で、緊急時の対応をお知らせしていきます。

### 1 1年生「若あゆ」での対応

- ・若あゆの緊急時の対応にしたがって行動します。若あゆの実施計画で確認してください。
- ・状況により、バスを手配しての帰校、若あゆでの保護者等への引き渡し、若あゆに待機等(宿泊)の対応をすることになると思われます。

### 2 2年生「校外学習」での対応

- ・事前に避難場所等を確認し、災害時の生徒の対応(動き)を指示しておきます。
- ・鎌倉遠足(地震・津波の避難場所)、東京遠足(地震による帰宅困難)など、行く場所によって対応が違いますので、実施計画で確認してください。

### 3 3年生「修学旅行」での対応

- ・関西方面での地震等の場合は、現地の宿泊場所等の緊急時の対応にしたがいます。
- ・東海・関東等で地震や津波によって新幹線が止まってしまった場合は、京都での宿泊となります。(旅行保険による延泊の場合もあります)

## 部活動対外試合時の対応について

部活動で、本校以外の場所に練習試合や公式戦・コンクール等に出かけたときの災害時の対応は、基本的に活動している場所(中学校・高校・市立体育館・球場・ホール等)の緊急時の対応にしたがいます。

顧問と一緒にいますので、安全を確認して電車・バス・徒歩等で本校(または自宅)まで集団で移動します。

学校に対策本部を設置し、現地との連絡をとり、対応に努めます。